

受 検 番 号	氏 名

令和 7 年度 (後期)

2 級建築施工管理技術検定

第一次検定問題

令和 7 年 11 月 9 日 (日)

[注 意 事 項]

- ページ数は、表紙を入れて 24 ページです。
- 試験時間は、10 時 15 分から 12 時 45 分です。
- 問題の解答の仕方は、次によってください。
 - [No. 1] から [No. 4] までの 4 問題は、全問題を解答してください。
 - [No. 5] から [No. 14] までの 10 問題のうちから、5 問題を選択し、解答してください。
 - [No. 15] から [No. 17] までの 3 問題は、全問題を解答してください。
 - [No. 18] から [No. 27] までの 10 問題のうちから、7 問題を選択し、解答してください。
 - [No. 28] から [No. 37] までの 10 問題は、全問題を解答してください。
 - [No. 38] から [No. 42] までの 5 問題は、全問題を解答してください。
 - [No. 43] から [No. 50] までの 8 問題のうちから、6 問題を選択し、解答してください。
- 選択問題は、解答数が指定数を超えた場合、減点となります。
- 問題番号 [No. 1] から [No. 37]、[No. 43] から [No. 50] は、四肢択一式です。
正解と思う肢の番号を 1 つ選んでください。
- 問題番号 [No. 38] から [No. 42] は、施工管理法の能力問題で五肢択一式です。
正解と思う肢の番号を 1 つ選んでください。
- 解答用紙への記入に当たっては、次によってください。

マークの塗りつぶし例 

 - 解答は、選んだ番号を右のマークの塗りつぶし例に従って、[HB] の黒鉛筆か黒シャープペンシルで塗りつぶしてください。ボールペン、サインペン、色鉛筆等では採点されません。
 - マークを訂正する場合は、消しゴムできれいに消して訂正してください。
- 解答用紙は、雑書きしたり、汚したり、折り曲げたりしないでください。
- この問題用紙は、計算等に使用しても差し支えありません。
- 漢字に付したふりがなは補足であり、異なる読み方場合があります。
- この問題用紙は、第一次検定の試験終了時刻まで在席した場合に限り、持ち帰りを認めます。
途中退席する場合は、持ち帰りできません。

※ 問題番号 [No. 1] から [No. 4] までの 4 問題は、全問題を解答してください。
問題は四肢択一式です。正解と思う肢の番号を 1 つ選んでください。

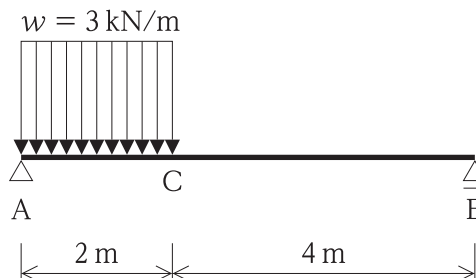
[No. 1] 照明に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

- 天井や壁等の建築部位と一体化した照明方式を、建築化照明という。
- 全般照明と局部照明を併せて行う照明方式を、タスク・アンビエント照明という。
- 単位面積当たりから放射する光束の量を、照度という。
- 照明対象となる範囲外に照射されるような漏れ光によって引き起こされる障害のことを、光害という。

[No. 2] 鉄筋コンクリート構造に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

- 大梁の主筋は、引張力だけでなく圧縮力に対しても有効に働く。
- 床スラブの配筋において、主筋はスラブの長辺方向に、配力筋は短辺方向に配筋する。
- 梁の幅止め筋は、腹筋間に架け渡したもので、あばら筋の振れ止め及びはらみ止めの働きをする。
- 柱の主筋に必要な定着長さは、一般にコンクリートの設計基準強度が高くなるにつれて、短くなる。

[No. 3] 図に示す単純梁 AB の AC 間に等分布荷重 w が作用したとき、BC 間に生じるせん断力の値の大きさとして、正しいものはどれか。



- 1 kN
- 2 kN
- 3 kN
- 6 kN

※ 問題番号 [No. 1] から [No. 4] までの 4 問題は、全問題を解答してください。
問題は四肢択一式です。正解と思う肢の番号を 1 つ選んでください。

[No. 4] 鋼材に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. ヤング係数は、常温では強度に係わらずほぼ一定である。
2. 建築構造用圧延鋼材 SN 400 B の引張強さの下限値は、 400 N/mm^2 である。
3. 炭素含有量が多くなると、溶接性は低下する。
4. 約 $1,000^\circ\text{C}$ で融解する。

※ 問題番号 [No. 5] から [No. 14] までの 10 問題のうちから、5 問題を選択し、解答してください。
 5 問題を超えて解答した場合、減点となります。
 問題は四肢択一式です。正解と思う肢の番号を 1 つ選んでください。

[No. 5] 冬季における一般的な結露対策に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 外壁の室内側の表面結露を防止するためには、熱橋となる部分に断熱材を施す。
2. 外壁の室内側の表面結露を防止するためには、居室の気密性を高め、絶対湿度を高くする。
3. 外壁の壁体内の結露を防止するためには、外断熱にする。
4. 二重サッシ間の結露を防止するためには、室内側サッシの気密性を高くする。

[No. 6] 音の一般的な性質に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 塀等の障壁の裏側に音が回り込む現象は、周波数の高い音のほうが起こりやすい。
2. 音波は、空気の粒子が音波の進行方向と同じ方向に振動する縦波である。
3. ある音が他の音によって聞こえにくくなる現象を、マスキング効果という。
4. 室内の仕上げが同じ場合、室の容積が大きいほど残響時間は長くなる。

[No. 7] 鉄骨構造の一般的な特徴に関する記述として、鉄筋コンクリート構造と比較した場合、最も不適当なものはどれか。

1. 構造体の剛性が大きいと、振動障害が生じにくい。
2. 大スパンの建築物に適している。
3. 同じ容積の建築物では、構造体の軽量化が図れる。
4. 鋼材は不燃材料であるが、骨組の耐火性能は劣る。

[No. 8] 鉄骨構造の部材に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. ガセットプレートは、節点に集まる部材相互の接合のために設ける。
2. エンドタブは、溶接時に溶接線の始端と終端に取り付ける。
3. 添え板（スプライスプレート）は、高力ボルト等で部材を接合する際に用いる。
4. 丸鋼を用いる筋かいには、主に圧縮力に抵抗する。

※ 問題番号 [No. 5] から [No. 14] までの 10 問題のうちから、5 問題を選択し、解答してください。
 5 問題を超えて解答した場合、減点となります。
 問題は四肢択一式です。正解と思う肢の番号を 1 つ選んでください。

[No. 9] 地盤及び基礎構造に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

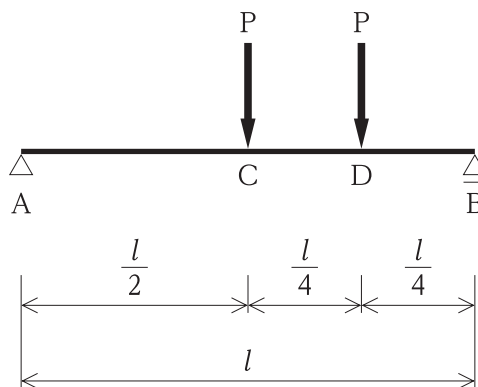
1. 液状化現象は、粘性土地盤より砂質地盤のほうが生じやすい。
2. 水を多く含んだ粘性土地盤では、圧密が生じにくい。
3. 直接基礎の鉛直支持力は、基礎スラブの根入れ深さが深くなるほど大きくなる。
4. 直接基礎の形や大きさは、上部荷重に応じて基礎底面に生じる力の大きさと地耐力により決める。

[No. 10] 構造材料の力学的性質に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

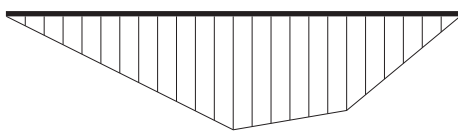
1. 弾性体の一方向の垂直応力によって材料に生じる縦ひずみに対する横ひずみの比を、ポアソン比という。
2. 熱による材料の単位長さ当たりの膨張長さの割合を、ヤング係数という。
3. 弾性体の応力度とひずみ度が比例関係にあることを、フックの法則という。
4. 曲げモーメントを材の断面二次モーメントで除して、中立軸からの距離を乗じて算定するものを、曲げ応力度という。

※ 問題番号 [No. 5] から [No. 14] までの 10 問題のうちから、5 問題を選択し、解答してください。
 5 問題をを超えて解答した場合、減点となります。
 問題は四肢択一式です。正解と思う肢の番号を 1 つ選んでください。

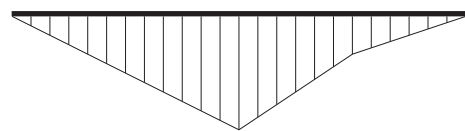
[No. 11] 図に示す単純梁 AB の点 C 及び点 D にそれぞれ集中荷重 P が作用したときの曲げモーメント図として、正しいものはどれか。
 ただし、曲げモーメントは材の引張側に描くものとする。



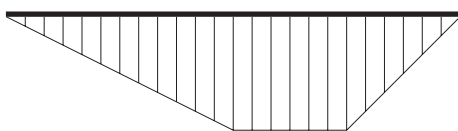
1.



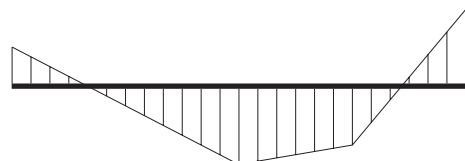
2.



3.



4.



※ 問題番号 [No. 5] から [No. 14] までの 10 問題のうちから、5 問題を選択し、解答してください。
5 問題をを超えて解答した場合、減点となります。
問題は四肢択一式です。正解と思う肢の番号を 1 つ選んでください。

[No. 12] 日本産業規格 (JIS) に規定するセラミックタイルに関する記述として、不適当なものはどれか。

1. 素地とは、タイルの主体をなす部分をいい、施釉タイルの場合、表面に施したうわぐすりは含まない。
2. 壁の有機系接着剤によるタイル後張り工法で施工するタイルには、裏あしがなくてはならない。
3. 表張りユニットタイルとは、多数個並べたタイルの表面に、表張り台紙を張り付けて連結したものをいう。
4. 水濡れする床に使用するタイルは、原則として、耐滑り性の試験を行わなければならない。

[No. 13] 日本産業規格 (JIS) に規定する建具の性能試験における性能項目に関する記述として、不適当なものはどれか。

1. 強さとは、外力に耐える程度をいう。
2. 遮熱性とは、熱の移動を抑える程度をいう。
3. 結露防止性とは、建具表面の結露の発生を防ぐ程度をいう。
4. 開閉繰返しとは、開閉繰返しに耐え得る程度をいう。

[No. 14] ボード類の一般的な性質に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. けい酸カルシウム板は、温度や湿度による伸縮や反り等の変形が小さい。
2. インシュレーションボードは、断熱性に優れている。
3. ロックウール化粧吸音板は、吸音性や耐水性に優れている。
4. シーディングせっこうボードは、普通せっこうボードに比べ、吸水時の強度低下が少ない。

※ 問題番号 [No. 15] から [No. 17] までの 3 問題は、全問題を解答してください。
問題は四肢択一式です。正解と思う肢の番号を 1 つ選んでください。

[No. 15] 屋外排水工事に^{おくがいはいすいこうじ}関する記述^{きじゆつ}として、最も不適当なものはどれか。

1. 排水管^{はいすいかん}を給水管^{きゅうすいかん}に平行^{へいこう}して埋設^{まいせつ}する場合^{ばあい}、原則^{げんそく}として排水管^{はいすいかん}を下方^{かほう}にして、両配管^{りょうはいかん}は 500 mm 以上^{いじょう}のあきを設ける。
2. 排水管^{はいすいかん}として用いる遠心力^{もちえんしんりょくてつきん}鉄筋^{かん}コンクリート管^{かん}のソケット管^{うけぐち}は、受口^{じょうりゅう}を上流^むに向けてみずしも^{みずしも}ふせつ^{ふせつ}水下^{ふせつ}から敷設^{ふせつ}する。
3. 地中^{ちちゅう}埋設^{まいせつ}排水管^{はいすいかん}の長さ^{なが}がその内径^{ないけい}又は内法幅^{うちのりはば}の 120 倍^{ばい}を超えない範囲^こ内で、枡^{はん}又はマンホール^いを設ける^{ますまた}。
4. 地中^{ちちゅう}埋設^{まいせつ}排水経路^{はいすいけい}に枡^ろを設ける場合^{ます}、雨水枡^{もう}にはインバート^{ばあい}を、汚水枡^{うすいす}には泥だめ^{おすいす}を設ける^{どろ}。

[No. 16] 建築物^{けんちくぶつ}の電気設備^{でんきせつび}に関する用語^{かん}の組合せ^{ようご}として、最も関係^{くみあわ}の少ないものはどれか。

1. 避雷設備^{ひらいせつび} ————— 棟上導体^{むねあげどうたい}
2. 高压受変電設備^{こうあつじゅうへんでんせつび} ————— キュービクル
3. 照明設備^{しょうめいせつび} ————— PBX
4. 予備電源設備^{よびでんげんせつび} ————— 蓄電池^{ちくでんち}

[No. 17] 給排水設備^{きゅうはいすいせつび}に関する記述^{きじゆつ}として、最も不適当なものはどれか。

1. 飲料水用^{いんりょうすいよう}の給水タンク^{きゅうすい}の水抜管^{みずぬきかん}は、排水管^{はいすいかん}に直接^{ちよくせつれんけつ}連結^{れんけつ}する。
2. 飲料水用^{いんりょうすいよう}の給水タンク^{きゅうすい}の天井^{てんじょう}、底^{そこ}又は周壁^{しゅうへき}は、建築物^{けんちくぶつ}の構造体^{こうぞうたい}と兼用^{けんよう}してはならない。
3. 公共下水道^{こうきょうげすいどう}の排水方式^{はいすいほうしき}には、雨水^{うすい}とその他の排水^たを合流^{はいすい}させる合流式^{ごうりゅう}と、合流^{ごうりゅうしき}させない分流水^{ぶんりゅうしき}式^{しき}がある。
4. 水道直結増圧方式^{すいどうちよっけつぞうあつほうしき}の給水設備^{きゅうすいせつび}は、水道本管^{すいどうほんかん}から分岐^{ぶんき}した水道引込み管^{すいどうひきこ}に増圧給水装置^{かんぞうあつきゅうすいそうち}を直結^{ちよっけつ}し、建物各所^{たてものかくしょ}に給水^{きゅうすい}する方式^{ほうしき}である。

※ 問題番号 [No. 18] から [No. 27] までの 10 問題のうちから、7 問題を選択し、解答してください。
 7 問題を超えて解答した場合、減点となります。
 問題は四肢択一式です。正解と思う肢の番号を 1 つ選んでください。

[No. 18] 遣方及び墨出しに関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 水貫は、水杭に示した一定の高さに上端を合わせて、水杭に水平に取り付ける。
2. 縄張りは、建物の位置を確認するため、設計図書に従ってロープを張り巡らせる。
3. 鋼製巻尺は、温度により伸縮するため、測定時の気温に合わせて温度補正を行う。
4. 2 階から上階における高さの基準墨は、墨の引通しにより、順次下階の墨を上げる。

[No. 19] 地業工事にに関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 砂利地業で用いる砂利は、砂が混じっていない粒径の揃ったものとする。
2. 締固めによって砂利地業にくぼみが生じた場合、砂利を補充して表面を平らに均す。
3. 捨てコンクリート地業は、基礎スラブ及び基礎梁のセメントペーストの流出を防ぐ効果がある。
4. 捨てコンクリート地業は、床付け地盤が強固で良質な場合、地盤上に直接施工できる。

[No. 20] 異形鉄筋における継手及び定着に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 大梁の上端筋の継手位置は、スパンの中央部とする。
2. 重ね継手の長さは、コンクリートの設計基準強度に係わらず同じである。
3. 鉄筋の継手には、重ね継手、圧接継手、機械式継手、溶接継手等がある。
4. フック付き定着とする場合の定着の長さは、定着起点からフックの折曲げ開始点までの距離とする。

※ 問題番号 [No. 18] から [No. 27] までの 10 問題のうちから、7 問題を選択し、解答してください。
 7 問題を超えて解答した場合、減点となります。
 問題は四肢択一式です。正解と思う肢の番号を 1 つ選んでください。

[No. 21] せき板及び支柱の取りはずしに関する記述として、最も不適当なものはどれか。

ただし、計画供用期間の級は標準とする。

1. 梁下支柱の取りはずしが可能となるコンクリートの圧縮強度は、普通ポルトランドセメントを用いる場合と早強ポルトランドセメントを用いる場合では同じである。
2. せき板の取りはずしが可能となるコンクリートの圧縮強度は、柱とスラブ下では異なる。
3. コンクリートの材齢によるスラブ下の支柱の最小存置期間は、普通ポルトランドセメントを用いる場合、存置期間中の平均気温によって異なる。
4. コンクリートの材齢によるせき板の最小存置期間は、普通ポルトランドセメントを用いる場合と高炉セメント B 種を用いる場合では同じである。

[No. 22] 鉄骨の建方に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 建入れ直し用のワイヤロープの取付け用ピースは、あらかじめ鉄骨本体に取り付けた。
2. 油が付着している仮ボルトは、油を除去して使用した。
3. ターンバックル付き筋かいを有する構造物は、その筋かいを用いて建入れ直しを行った。
4. 溶接継手のエレクションピースに使用する仮ボルトは、高力ボルトを用いて全数締め付けた。

※ 問題番号 [No. 18] から [No. 27] までの 10 問題のうちから、7 問題を選択し、解答してください。
 7 問題を越えて解答した場合、減点となります。
 問題は四肢択一式です。正解と思う肢の番号を 1 つ選んでください。

[No. 23] 合成高分子系ルーフィングシート防水の接着工法に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 塩化ビニル樹脂シート防水において、防水層の立上り末端部は、押え金物で固定し、不定形シール材を用いて処理した。
2. 塩化ビニル樹脂シート防水において、ALC パネル下地であったため、プライマーを塗布した。
3. 加硫ゴム系シート防水において、ルーフィングシート相互の接合部は、接着剤とテープ状シール材を併用して接合した。
4. 加硫ゴム系シート防水において、ルーフィングシート相互の接合部で 3 枚重ねとなる部分は、熱風で柔らかくして段差部をなくすように融着した。

[No. 24] セルフレベリング材塗りに関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 流し込みに先立ち、コンクリート下地を調整し、塗厚が 10 mm 程度となるようにした。
2. 流し込み作業中は、通風のため窓や開口部を開放した。
3. 流し込み後の乾燥養生期間は、外気温が低い冬季であったため、14 日間とした。
4. 打継ぎ部の凸部は、硬化後にサンダーを使って削り取った。

[No. 25] 鋼製建具に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

ただし、1 枚の戸の有効開口は、幅 950 mm 以下、高さ 2,400 mm 以下とする。

1. 建具枠の取付け用のアンカーは、枠の両端から逃げた位置から 900 mm 内外の間隔で設けた。
2. フラッシュ戸の組立てにおいて、中骨を 300 mm 以下の間隔で設けた。
3. 錆止め塗装を 2 回塗りとするため、1 回目を工場で行い、2 回目を工事現場で行った。
4. くつずりは、あらかじめ裏面に鉄線等を取り付けておき、モルタル詰めを行った後に取り付けた。

※ 問題番号 [No. 18] から [No. 27] までの 10 問題のうちから、7 問題を選択し、解答してください。
7 問題をを超えて解答した場合、減点となります。
問題は四肢択一式です。正解と思う肢の番号を 1 つ選んでください。

[No. 26] ビニル床シート張りに関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 床シートは、張付け前に 24 時間以上仮敷きし、巻き癖を除いた。
2. 床シートを幅木部に張り上げるため、ニトリルゴム系接着剤を用いた。
3. 熱溶接工法において、溶接部の床シートの溝部分と溶接棒は、250℃ から 300℃ の熱風で加熱溶融した。
4. クッションフロアの床シート間の端部の接合には、溶接液を用いた。

[No. 27] 外部仕上改修工事に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 外壁の劣化した既存複層仕上塗材は、高圧水洗で除去した。
2. 外装金属カーテンウォールの既存シーリングをすべて除去することが困難なため、補修シーリング材を重ねるブリッジ工法で補修した。
3. 外壁の石張り目地のシーリング材の劣化した部分を再充填工法にて改修するため、既存シーリング材を除去し、同種のシーリング材を充填した。
4. 外壁のコンクリート打放し面のひび割れは、ポリマーセメントモルタル充填工法で改修した。

※ 問題番号[No. 28]から[No. 37]までの10問題は、全問題を解答してください。
問題は四肢択一式です。正解と思う肢の番号を1つ選んでください。

[No. 28] 事前調査に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

- 敷地境界と敷地面積の確認のため、地積測量を行うこととした。
- 敷地内の建家、立木、工作物の配置を把握するため、水準測量を行うこととした。
- 掘削への影響を検討するため、近隣河川までの距離と河川の水位を調査することとした。
- 杭の打込みが予定されているため、近接する工作物や舗装の現状を記録することとした。

[No. 29] 仮設計画を検討するうえでの位置関係の組合せとして、最も関係の少ないものはどれか。

- 仮設給水の引込み位置 ———— 受変電設備の設置位置
- 仮設足場の防護棚の設置位置 ———— 隣接道路の位置
- 乗入れ構台の設置位置 ———— 本体建物の鉄骨柱の位置
- 下小屋の位置 ———— 材料置場の位置

[No. 30] 工事現場における材料の保管に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

- アルミニウム製建具は、平積みを避け、立てて保管した。
- 型枠用合板は、直射日光が当たらないようにシートを掛けて保管した。
- 板ガラスは、クッション材を挟み、乾燥した場所に平積みで保管した。
- 巻いた壁紙は、癖が付かないように立てて保管した。

[No. 31] 工程管理に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

- 工程計画は、所定の工期内で、所定の品質を確保し、経済的に施工できるよう作成する。
- 工程管理の手法として、3次元CADやコンピュータグラフィックスを使用することで工事現場の進捗状況を視覚的に把握する方法がある。
- Sチャートは、工事の進捗に従って発生する出来高の累積値を縦軸に、時間を横軸にすることで、出来高の進捗を示すことができる。
- 工期短縮に用いる手法として、山積工程表における山崩しがある。

※ 問題番号 [No. 28] から [No. 37] までの 10 問題は、全問題を解答してください。
問題は四肢択一式です。正解と思う肢の番号を 1 つ選んでください。

[No. 32] バーチャート工程表に関する次の文章 中、☐ に当てはまる語句の組合せとして、**適当なものはどれか。**

「バーチャート工程表は、縦軸に工事種目、横軸に ☐ **イ** を示した工程表であり、その特徴として、作成がしやすい、各工事種目の日程が管理しやすい、作業間調整に伴う修正が ☐ **ロ**，重点管理項目がわかりにくい、複雑な工事には不向き等がある。」

	イ	ロ
1.	各工事日数	しにくい
2.	各工事日数	しやすい
3.	各工事の達成度	しにくい
4.	各工事の達成度	しやすい

[No. 33] 建築施工の品質管理に関する記述として、**最も不適当なものはどれか。**

1. 施工の検査に伴う試験は、試験によらなければ品質及び性能を証明できない場合に行う。
2. 品質計画に基づく施工の試験又は検査の結果は、次の計画や設計に活かす。
3. 品質管理は、施工段階より計画段階で検討するほうが効果的である。
4. 品質管理は、作業そのものを適切に実施するプロセス管理に重点を置くより、試験や検査に重点を置く。

[No. 34] 品質管理の用語に関する記述として、**最も不適当なものはどれか。**

1. サンプルとは、母集団の情報を得るために、母集団から取られた 1 つ以上のサンプリング単位をいう。
2. 三現主義とは、現場で現物を見ながら現実的に検討を進めることを重視する考え方をいう。
3. トレーサビリティとは、対象の履歴、適用又は所在を追跡できることをいう。
4. ロットとは、異なる条件下で生産された品物の集まりをいう。

※ 問題番号 [No. 28] から [No. 37] までの 10 問題は、全問題を解答してください。
問題は四肢択一式です。正解と思う肢の番号を 1 つ選んでください。

[No. 35] 鉄筋のガス圧接継手の外観検査の結果、不合格となった圧接部の処置に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 圧接部のふくらみの直径や長さが規定値に満たなかったため、再加熱し加圧して所定のふくらみに修正した。
2. 圧接部のふくらみが規定値を超える片ふくらみとなっていたため、圧接部を切り取って再圧接した。
3. 圧接面のずれが規定値を超えていたため、圧接部を切り取って再圧接した。
4. 圧接部における鉄筋中心軸の偏心量が規定値を超えていたため、再加熱して偏心を修正した。

[No. 36] 作業主任者を選任すべき作業として、「労働安全衛生法施行令」上、定められていないものはどれか。

1. 支柱高さが 3 m の型枠支保工の解体
2. 軒の高さが 5 m の木造建築物の構造部材の組立て
3. 鉄筋コンクリート構造の建築物の鉄筋の組立て
4. アセチレン溶接装置を用いて行う金属の溶断

[No. 37] 通路及び足場に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 高さ 8 m 以上の登り桟橋には、高さ 7 m 以内ごとに踊場を設けた。
2. 勾配が 15° 以下の登り桟橋には、踏桟を設けなかった。
3. 高さ 5 m 以上の桟組足場において、壁つなぎの水平方向の間隔は、10 m とした。
4. 桟組足場において、階段の手すりの高さは、踏板より 90 cm とした。

※ 問題番号 [No. 38] から [No. 42] までの 5 問題は能力問題です。全問題を解答してください。
問題は五肢択一式です。正解と思う肢の番号を 1 つ選んでください。

[No. 38] 型枠のセパレータに関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. コーンを使用しないセパレータは、型枠脱型後にねじ部分を折り取り、残った座金の露出部分に錆止め塗料を塗り付けた。
2. 地下外壁には、水膨潤ゴム製の止水板付きセパレータを用いた。
3. 打放し仕上げ面となる外壁コンクリートの型枠に、コーン付きセパレータを用いた。
4. 独立柱の型枠の組立てにおいて、コラムクランプをセパレータで締め付けた。
5. セパレータは、せき板に対して垂直となるよう配置した。

[No. 39] 木造在来軸組構法に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 腰掛け蟻継ぎとした土台の継手部分は、下木となるほうをアンカーボルトで締め付けた。
2. 根太の継手の位置は、大引の受材心とした。
3. 土台の継手の位置は、床下換気口部分を避けた。
4. 筋かいには、建入れ直し完了後、接合金物や火打梁を固定した後に取り付けした。
5. 和小屋組の棟木や母屋には、垂木を取り付けるため、垂木欠きを行った。

[No. 40] 外壁の張り石工事において、湿式工法と比較した場合の乾式工法の特徴として、最も不適当なものはどれか。

1. 石材の表面に衝撃が加わると破損しやすい。
2. 凍結による被害を受けにくい。
3. 地震時の躯体の挙動に追従しにくい。
4. エフロレッセンス（白華現象）が起こりにくい。
5. 石材の熱変形を吸収できる。

※ 問題番号[No. 38]から[No. 42]までの5問題は能力問題です。全問題を解答してください。
問題は五肢択一式です。正解と思う肢の番号を1つ選んでください。

[No. 41] 金属製折板葺に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. タイトフレームと下地材との接合は、ボルト接合とした。
2. はぜ締め形折板は、本締めの前にタイトフレームの間を1mの間隔で部分締めを行った。
3. 重ね形折板のけらばの変形防止材には、折板の3山ピッチ以上の長さのものをを用いた。
4. 棟包みと折板の隙間を塞ぐため、棟包みの水下側にエプロンを設けた。
5. 重ね形折板のボルト孔は、呼出しポンチで開孔した。

[No. 42] アロー型ネットワーク工程表に関する用語の説明として、最も不適当なものはどれか。

1. ダミーとは、工程の最後に入れる予備日のことである。
2. フロートとは、作業の余裕時間のことである。
3. ノードとは、作業と作業を結合する点及び工程の開始点又は終了点のことである。
4. アクティビティとは、工事の工程を分割してできる工事活動の単位のことである。
5. クリティカルパスとは、開始結合点から終了結合点に至るまでの所要時間の合計が最も長いパスのことである。

※ 問題番号 [No. 43] から [No. 50] までの 8 問題のうちから、6 問題を選択し、解答してください。
 6 問題を超えて解答した場合、減点となります。
 問題は四肢択一式です。正解と思う肢の番号を 1 つ選んでください。

[No. 43] 用語の定義に関する記述として、「建築基準法」上、誤っているものはどれか。

1. 基礎は、構造耐力上主要な部分であるが、主要構造部ではない。
2. 土地に定着する工作物のうち、屋根及び柱若しくは壁を有するものは、建築物である。
3. 建築設備は、建築物に含まれない。
4. 耐火建築物以外の建築物で、主要構造部を準耐火構造とし、外壁の開口部で延焼のおそれがある部分に防火戸その他の政令で定める防火設備を有するものは、準耐火建築物である。

[No. 44] 居室の採光及び換気に関する記述として、「建築基準法」上、誤っているものはどれか。

1. 居室の窓その他の開口部で採光に有効な部分の面積を算定する際、天窓は実際の面積よりも大きな面積を有する開口部として扱う。
2. 劇場の客席には、政令で定める技術的基準に従って、換気設備を設けなければならない。
3. ホテルの客室には、採光のための窓その他の開口部を設けなければならない。
4. ふすま、障子その他随時開放することができるもので仕切られた 2 室は、居室の採光及び換気の規定の適用に当たっては、1 室とみなす。

[No. 45] 建設業の許可に関する記述として、「建設業法」上、誤っているものはどれか。

1. 建築一式工事のうち延べ面積が 150 m² に満たない木造住宅を建設する工事のみを請け負う場合、建設業の許可を必要としない。
2. 2 以上の都道府県の区域内に営業所を設けて営業しようとする者が建設業の許可を受けられる場合、国土交通大臣の許可を受けなければならない。
3. 国又は地方公共団体が発注者である建設工事を請け負う者は、特定建設業の許可を受けなければならない。
4. 建築一式工事のうち工事 1 件の請負代金の額が 1,500 万円に満たない工事のみを請け負う場合、建設業の許可を必要としない。

※ 問題番号 [No. 43] から [No. 50] までの 8 問題のうちから、6 問題を選択し、解答してください。
 6 問題を超えて解答した場合、減点となります。
 問題は四肢択一式です。正解と思う肢の番号を 1 つ選んでください。

[No. 46] 建設工事の請負契約書に記載しなければならない事項として、「建設業法」上、定められていないものはどれか。

1. 工事の履行に必要なとなる建設業の許可の種類及び許可番号
2. 注文者が工事に使用する資材を提供するとき、その内容及び方法に関する定め
3. 契約に関する紛争の解決方法
4. 各当事者の履行の遅滞その他債務の不履行の場合における遅延利息、違約金その他の損害金

[No. 47] 建設工事の現場における次の業務のうち、「労働安全衛生法」上、都道府県労働局長の登録を受けた者が行う技能講習を修了した者が就くことができる業務はどれか。
 ただし、道路上を走行させる運転を除くものとする。

1. 建設用リフトの運転の業務
2. 機体重量が 2t のパワーショベルの運転の業務
3. つり上げ荷重が 1t の移動式クレーンの玉掛けの業務
4. ゴンドラの操作の業務

[No. 48] 建設工事の現場において、元方安全衛生管理者を選任しなければならない常時就労する労働者の最少人員として、「労働安全衛生法施行令」上、正しいものはどれか。
 ただし、ずい道等の建設の仕事、橋梁の建設の仕事又は圧気工法による作業を行う仕事を除くものとする。

1. 10 人
2. 20 人
3. 30 人
4. 50 人

※ 問題番号 [No. 43] から [No. 50] までの 8 問題のうちから、6 問題を選択し、解答してください。
6 問題を超えて解答した場合、減点となります。
問題は四肢択一式です。正解と思う肢の番号を 1 つ選んでください。

[No. 49] 建設工事に係る次の資材のうち、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）」上、特定建設資材に該当しないものはどれか。

1. 木造住宅の改修工事に伴って生じた木材の端材
2. 木造住宅の金属製建具の改修工事に伴って生じた金属くず
3. 駐車場の解体撤去工事に伴って生じたコンクリート平板のガラ
4. 駐車場の解体撤去工事に伴って生じた舗装用アスファルト・コンクリート塊

[No. 50] 次の者のうち、「消防法」上、定められていないものはどれか。

1. 特定高圧ガス取扱主任者
2. 危険物取扱者
3. 防火対象物点検資格者
4. 防火管理者